

新年のごあいさつ



清須市長

永田 純夫

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた平成30年の清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃は市政運営にご理解とご協力を賜り、厚く感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、7月に起こりました九州北部を中心とした集中豪雨により、多くの尊い命が失われたことは記憶に新しく、犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、引き続き本市におきましても防災対策に傾注する意を強くする思いであります。

その一方で、6月には、14歳でプロ棋士としてデビューした藤井聡太4段がデビューから無敗のまま公式戦29連勝の新記録を達成し、9月には22歳の桐生祥秀選手が陸上1000メートルで日本人として初めて10秒を切る9秒98の

新記録を樹立するなど、若い力が躍動した1年でもありました。

政治経済に目を向けますと、先ごろ政府は、7四半期連続のプラス成長による景気回復、需給ギャップのプラス転向や過去最高の企業収益などデフレ脱却に向けた改善を報告しました。実際、企業収益は過去最高の75兆円を記録し、有効求人倍率は四半世紀ぶりの高水準となつていますが、個人消費はマイナスとなるなど、市民の皆様の実感とは乖離したものとなつているようです。

さて、本市におきましては、誕生から12年余りが経ちました。12年前の人口は約6万3千人でありましたが、昨年9月に6万8千人を超えました。日本全体では人口減少時代に入っておりますが、本市はまだまだ人口が増加傾向にあります。

しかし、平成32年をピークに減少に転じることが予想されていることから、若い世代の子育ての希望を実現することが何より重要であります。安心して妊娠・出産・育児ができる環境をつくるとともに、充実した保育・教育を行い、子育てのしやすいまちづくりを進めてまいります。

子育て支援の充実に向けては、保育園の待機児童ゼロの維持に努めるとともに、子育て世代の経済的な負担を軽減するために、第2子保育料等の段階的無償化の取組みを進めてまいります。

加えて、地域社会における児童の安全で安心な居場所づくりのため、放課後の子ども達の活動の場の充実に向けて、現在小学校4校で「放課後子ども教室」を実施しておりますが、実施していない4校についても順次実施してまいります。

さらには、子ども達が安全で快適に学校生活を送ることができるように、小中学校の長寿命化事業を進めるとともに、全教室へのエアコンの設置につきましても検討してまいります。

引き続き、平成28年に策定しました第2次総合計画に沿って、子どもから高齢者まですべての市民の皆様が生涯にわたり安心して健康で暮らすことができるよう「安心・快適で元氣な都市」の実現をめざすとともに、先の市長選挙で掲げました公約の実現に向け、総力を結集し、取り組んでまいります。

結びに、新しい年が市民の皆様にとって輝かしい飛躍の年となりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



清須市議会議長

八木勝之

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、平成30年の輝かしい新春を健やかに迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

平素は、市議会活動並びに市政運営に對しまして、温かいご理解と絶大なるご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

新年にあたり、市議会を代表いたしましたこと、あいさつを申し上げます。

昨年、1月より本庁方式に移行し、新たな市の拠点として1年が経過いたしました。また、昨年執行されました市長選挙により、永田新市長が誕生いたしました。新市長の今後の市政運営の舵取りに大いに期待するところでございます。

新たな年を迎えるにあたり、議会の責務を遂行するために全議員の総力を結集し、清須市の更なる発展を願ひ、第2次総合計画の基本理念であります、「安心」・「快適」・「魅力」・「連携」を基に、本市の将来像である「水と歴史に織りなされた安心・快適で元氣な都市」の実現を目指し引続き邁進する覚悟でございます。

市議会といたしましては、これまで同様、市民の皆様方の声に耳を傾け、連携を一層密にし、市と一体となつて進めるべきものについては、議員一丸となり市と協力して積極的に進めるとともに、時には厳しい意見も申し上げ、議論を尽くし、監視役としての役割も果たしてまいり所存でございます。

昨今、頻発しておりますゲリラ豪雨と称される集中豪雨や近い将来発生が予想されております南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、庄内川・新川・五条川の3つの河川に挟まれている清須市においては、更なる防災力の強化を図っていかねばなりません。また、少子高齢化は急速に進行しており、育児、介護

への支援加速を含めて、これらの社会福祉制度等の課題への対応、次代を担う子どもたちへの教育行政の充実など、積極的に取組まなければならない課題が山積いたしております。

近頃の経済は緩やかな回復基調といわれますが、行財政運営の厳しい状況に変わりはありません。限られた貴重な財源をどのような施策に充てるべきか、市議会といたしましても議員一人ひとりの責務を全うし、議会の場で議論を尽くし、将来の清須市のあるべき姿をしつかりと見定めて市政に提言していくことが、私たち議員の重要な使命であると考えております。

私たち議員は、社会の変化に伴い複雑化・多様化する行政需要を適確に把握するとともに、議会の情報を広く市民の皆様にお伝えし、議会の公開性・透明性を高め、開かれた議会を目指してまいります。

結びに本年も変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新春を迎えて

愛知県知事 大村 秀章



明けましておめでとうございます。

昨年は、愛知総合工科高等学校専攻科の公設民営化や遠隔型自動運転システムの実証実験、あいち航空ミュージアムのオープン、スタジオジブリ作品をテーマとした「ジブリパーク構想」の立ち上げなど、全国初となる取組み、愛知ならではの取組みにチャレンジした1年でした。また、アメリカ、ベルギー等の地域と相互協力等の覚書を締結し、海外とのパイプを一層強固にした1年でもありました。

今年も、愛知の総合力を更に高めるとともに、未来へと続く取組みを愛知の発展の種として、しっかりと芽吹かせ、着実に育てていく1年にまいります。

そのためには、リニア開業に向け、鉄道・道路網の強化など中京大都市圏づくりを着実に進めながら、次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、農林水産業の強化、国際展示場の整備などにより、愛知の産業競争力を一層強化してまいります。

また、ジブリパークの2020年代初頭の開業を目指し、夢とファンタジーあふれるジブリの世界を創り上げていけるよう、しっかりと取組みを進めてまいります。

さらに、認知症にやさしいまちづくりを目指す「オレンジタウン構想」や子どもの貧困対策の推進、スポーツや文化芸術の振興、教育・人づくり、防災、環境、東三河地域の振興などに力を注ぎ、「日本一住みやすい愛知」づくりを進めてまいります。

今年も、「日本一元気な愛知」の実現に向け全力で取組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

愛知県
西枇杷島警察署長 渡辺 勇人



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から警察行政の各般にわたり、ご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、西枇杷島警察署では、昨年、「二市一町の安心・安全」を目標に掲げ、地域の皆様が安心して暮らせるよう、各種警察活動を推進してまいりました。

そして、各自治体をはじめ地域の皆様、各種団体等による犯罪抑止活動、交通安全活動、非行防止活動など大きな力を得て、目標に向け大きく前進することができた1年でありました。

今年も昨年に引続き、「二市一町の安心・安全」を目標に掲げ、犯罪の抑止、交通死亡事故の抑止、青少年の非行防止、災害警備など各種警察活動を推進してまいりますので、皆様のより一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。